

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテ情報から放射線 CT 画像を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、CT 画像を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	AI 学習モデルを用いた単純 CT 画像から 3D 血管構築の確立
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 消化器腫瘍外科 (職名) 助教 (氏名) 大木悠輔
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2031 年 12 月 31 日
対象となる方	2012 年 1 月から 2025 年 7 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち消化器腫瘍外科でダイナミック CT を撮影された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) CT 画像データ
研究の概要 (目的・方法)	消化管・腫瘍外科学講座で担当する外科治療は、食道癌・胃癌・大腸癌が主ですが、この手術の安全性を確保するためには血管把握が非常に重要になります。現在血管の把握を行うために造影CTを用いていますが、造影CT、特にダイナミックCTは撮像枚数の増加による被曝量の増加が問題となります。また腎機能障害症例では造影剤が禁忌であり、造影剤アレルギーの可能性もあります。 そこで、単純CTから血管構築ができるようになれば、被曝量の低減にも有用性が高いと考え、そのために工学部と共同研究としてAI学習モデルをもちいて血管構築が可能かを評価することを、目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究とし

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：令和 7 年 7 月 25 日第 1 版

	て倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 消化器腫瘍外科 大木悠輔 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5975